

## 第 6 回 泉中学校再編検討委員会 会議録

日時	平成28年9月8日(木) 19時00分～21時06分
場所	泉市民館
出席者	委員 (25名) 山内敏久、山内六男、鈴木保博、伊藤公夫、伊藤正幸、渡辺直樹、高平哲夫、山田友行、檀林清和、太田完一、鈴木福治、内山正弘、樺山節生、川合正泰、千賀修治郎、千賀幸子、木村勇人、花井 充、千賀洋一、清水千里、千賀暁子、伊藤久恵、中村八重美、山上高弘、山本忠史 事務局 (7名) 花井教育長、大根教育部長、三竹教育総務課長、鈴木学校教育課長、小久保渥美支所地域課長、伊藤教育総務課課長補佐兼係長、宮嶋教育総務課主任
欠席者	なし
傍聴者	2名
事務局	開会
委員長	<p>きょうはお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>まず資料の確認です。きょうの協議事項の次第、資料1の第5回泉中学校再編検討委員会だより。資料2の8月23日の泉中学校区全体説明会のまとめ。それから、もう1枚はねていただきまして、資料3が、8月23日の泉中学校区説明会において説明した方針案です。資料のない方がありましたら、挙手をお願いします。</p> <p>それでは、委員会を始めさせていただきます。</p> <p>きょうの検討委員会は、前回の第5回検討委員会、先ほど申しましたように、8月23日の泉中学校区説明会での皆さんの意見を受けまして、統合先及び統合時期について、皆さんの意見を聞きまして、検討していただいて、この検討委員会の意見としてまとめていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>きょうは教育部長がお見えですので、最初にごあいさつをお願いいたします。</p>
教育部長	<p>お疲れのところ、検討委員会にお集まりいただき、まことにありがとうございます。</p> <p>さて、8月23日の泉中学校区説明会に大変多くの方に御参加いただきまして、また、さまざまな貴重な御意見をいただきました。ありがとうございます。</p> <p>先回の検討委員会で統合先、統合時期について教育委員会の方針案を出させていただいて、その後、泉中学校区説明会がありました。教育委員会としては、本当によくよく考えた上での方針案でございます。先回の校区説明会の模様等、後ほど説明があります。統合先については、東西30キロメートルの中で、どういう配置が適切なのかという田原市全体のバランス。それから、皆さんのアンケート調査結果により、赤羽根中学校へという形で提案させていただきました。</p> <p>統合時期につきましては、先回の検討委員会の中でも、もっと早くしてもらいたいという御意見もいただきました。教育委員会としては、校区説明会の中でも平成30年度、31年度の統合は大変厳しいと御報告させていただきました。受け入れる学校の部活動のことなど、これから平成30年度に向けての統合は、時間的に厳しいというこ</p>

	<p>とでありますし、また泉中学校の現在の 1 年生が中学 3 年生で統合するという心づもりの面もあろうかとも思います。</p> <p>また、平成31年度の統合も、やはり厳しいと考えています。あす、伊良湖岬中学校統合検討委員会を開催予定です。校区説明会では御意見等がございましたが、教育委員会が提案した方針案でおおむね固まっていくのかな、また動いていただきたいなという感じもいたしております。</p> <p>さきの校区説明会でも学校教育課長から説明させていただきましたが、2校の教員が27名という状況の中で同時に2校がなくなるということは、定年退職者を含めても、20名程度、ほかの学校へ行っていただくこともございます。そういう状況もございまして、我々としては、平成30年度、31年度の統合は大変厳しいとお伝えしなければいけないと考えております。</p> <p>また、校区説明会でも、平成32年度、場合によっては平成34年度の統合をという話もございました。それも一つの考え方としてありますが、子どもたちが統合するときには、やはり、1クラスの中に仲間がより多くいたほうが心強いといったこともありますので、我々は平成33年度を提案させていただきました。確かに平成33年度の中学3年生の年回りの方々には大変恐縮ではございますが、その中で多くの子と一緒に行くということが、我々とする一番いいのかなと思っております。</p> <p>また、御質問や御意見の中にもあったように、これは一朝一夕にできる話ではありませんが、道路等のことも含めて、また学校そのものが地域のシンボルということを考えますと、本当に我々としても、学校がなくなることへの寂しさなどの気持ちを受けとめながら対応していかなければいけないと思っております。そういう中で、昨年度来、地域の方の御意見の中にもあったように、急ぐ必要があるという御意見もあって、我々としみますと、いろいろなことをよくよく考えた上で最善の案として平成33年度を提案させていただきました。</p> <p>いずれにしても、いろいろなお考えがあろうかと思っておりますので、校区説明会の意見、あるいは本日、皆さんの御意見を承りながら、再編検討委員会としての総意がまとまっていくことを期待いたしまして、冒頭のあいさつとさせていただきます。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>先日の検討委員会の結果や泉中学校区説明会のまとめは、資料をごらんください。第5回再編検討委員会では、統合先は赤羽根中学校が大部分であったと思います。統合時期については、平成30年度、31年度が提案されまして、平成33年度より早めという意見が多かったように思います。</p> <p>8月23日の泉中学校区説明会では、統合先については赤羽根中学校で、それ以外の意見は出ませんでしたので、赤羽根中学校と判断してもよいと思います。</p> <p>それから、統合時期については、平成30年度、平成31年度がだめなら、平成32年度または平成33年度、さらに平成34年度でもいいのではないかという意見が出てきました。どうしても平成30年度という意見はなかったように思います。</p> <p>統合時期について意見がなかった人は、教育委員会の方針でいいという解釈をして</p>

	<p>もいいと思います。</p> <p>これらのことを踏まえまして、第 6 回再編検討委員会で、この再編検討委員会としての方針を決めていくために、委員の皆さんの意見を聞いていきますので、よろしくをお願いします。</p> <p>いろいろな意見があるかと思いますが、時間もかかりますので、事務局側からの回答は、全員の意見が終わった後としたいと思います。</p>
委員	<p>統合先は、赤羽根中学校。統合時期は、平成33年度で仕方ないという部分はあります。早くしてくれればいいと思うのですが、教育現場の人の話を聞くと、やはり平成30年度、31年度だと全く準備ができない。一番、重荷がかかってくるのが、やはり子どもと保護者になるということを教えてもらって、平成33年度でいいのかなと思います。みんなの意見を代弁するなら、平成30年度、平成31年度に早くやってもらえればと思う。</p>
委員	<p>この間の8月23日の泉中学校区説明会には、自分の用事で出られなかったのですが、会う人やLINEなどで私へ意見が来ました。この間の8月23日の説明会につきましては、一部意見を言いたかった人もいたようだけれども、言える雰囲気ではなかったということです。私もその場にいなかったのだからわからなかったことと、一部、勘違いをしてしまった人がいました。平成33年度の編入案として新聞にも載ったし、案内状も平成33年度の案で来ているので、平成33年度に決まってしまうんだという感じで、それを少し悔やむという話、一部、小学4年生のアンケート結果が来ているのですが、全員で35人回答があったうち、早く編入合併をしてほしいが21人、もう少し遅くが3人、その他1人とありました。</p>
委員長	<p>お待ちください。</p> <p>統合先と統合時期について、あなたの委員としての意見を言っただけですか。</p>
委員	<p>はい。私の意見としては、もう一度、説明会をしてほしいと思います。</p> <p>以前、野田中学校が統合する場合でも、知らない間に、野田中学校は田原中学校へ行ってしまったという声を聞いています。かかわった人たちは一生懸命頑張って話をしてくれたと思うのですが、やはり、末端まで、1人でも多くわかってもらえるような話し合いができればいいと思うので、私はもう1回、校区説明会をして、きちんと本当に納得していただいて、本当に赤羽根中学校がいい、あるいは福江中学校がいい、平成33年度がいい、平成30年度がいい、平成31年度がいいと話をしてもらったほうがいいと思います。私は検討委員会の委員なので方針案ということはわかるのですが、わからない人には全くわからないので、もう1回、きちんと話し合ったほうがいいのではないかと思います。</p>
委員長	<p>アンケート結果については、後ほどお願いします。</p>
委員	<p>平成30年度と平成31年度は難しいということなので、平成32年度か平成33年度にできればいいかなとは思っています。</p>
委員	<p>統合先は、赤羽根中学校。時期につきましては、できるだけ早い時期と、子どもたちにとって良いスタートを切れるようにするには、やはり調整事項がかなり多くある</p>

	<p>ようです。今までの意見と、伊良湖岬地区と野田中学校の統合に伴う協議結果のまとめというものを確認しまして、それを見ますと、平成33年度という時期が一番よいと私は感じます。以上です。</p>
委員	<p>私は赤羽根中学校でいいと思います。時期に関しては、私は変わらず平成31年度、遅くて平成32年度です。今まで言っているとおり、アンケートもとらせてもらって、私もそうやって思うのですけれども、なるべく早くしてくれという意見が多いし、それも子どもたちのことを考えて早くしてくれということなので、今までと変わらず平成31年度。遅くて平成32年度です。</p>
委員	<p>統合先は赤羽根中学校で、年度は、平成30年度、31年度がだめと言われれば、平成33年度も受け入れるしかないのかなと。何年度になっても、中学3年生のケアをどのようにしてくれるのか、受験や部活動に対しても、それを示してもらって、どの年度に当たる人たちにも安心できるようにしてほしいと思います。</p> <p>あと、時期も、野田中学校が統合して、伊良湖岬中学校が先に統合するので、3番目の統合なので、より問題点とかが解消されていい合併になるのかなという思いはありますが、知り合いに聞いたら予算の問題がある。幾らその時期が遅いからといって、やはり予算がうまくとれないと難しいのではないかという話も聞きまして、平成33年度には60億円ぐらい税収が下がっていると聞いておりますので、その年に合併となると、平成33年度に税収が減るからといって、それほど影響がないものなのか、5年間かけて少しずつ進めていけばいいものなのか、その辺も少し心配なので、御検討をお願いします。</p>
委員	<p>統合先は赤羽根中学校がいいです。時期に関しては、今までどおり平成30年度がいいなと思います。どうしても平成30年度、31年度がやれない、したくないという話であれば、時期は私、わからなくなってきたので、わかりません。</p> <p>ただ、子どもたちが、中学3年生だけがすごくクローズアップされていますけれども、中学2年生も多分大変な時期だと思うので、子どもたちが統合してよかったと思う時期があればいいなと思います。</p>
委員	<p>私も統合先は赤羽根中学校がいいと思います。時期に関しては、今、保育園の子どもを持っていて、具体的に少し先の話で、いつがいいというようには正直わからないところがあります。ですけれども、今までの話し合いの中で出てきた部活動とかバスの問題など、調整したほうが良い問題がうまく整ったときがその時期なのかなということしかわかりません。なので、何年ということは言えません。わかりません。</p>
委員長	<p>ほぼ条件が揃っているときがベストだということですね。ありがとうございます。</p>
委員	<p>私も赤羽根中学校への統合でいいと思います。時期に関しては、前回も意見を言わせていただいたとおり、早い時期を希望しております。平成33年度ではなく、もっと早い時期でできればと思っております。</p>
委員	<p>赤羽根中学校でよろしいと思います。時期については、自分としては、まとめねばいけないと思います。提案された平成33年度ということなのですが、できれば平成32年度にさせていただけたらいいかなと思います。まだ、ここが今のところ右か左かわか</p>

	らない点で、少し優柔不断なところがあって申しわけありませんけれども、できたら平成32年度で、1年ずらしていただければと思います。
委員	統合先は赤羽根中学校でよろしいと思います。時期に関しては、平成31年度と書いていましたけれども、少し準備期間が少ないかなという感じがします。平成33年度とすれば、5年間あるということで、少しでも長く準備期間がとれるほうがよろしいのかなと思いますけれども、はっきり言って何年度とは、僕からは答えは出せないような気がします。一応、市から統合先、統合時期の理由が示されていますので、それを参考に決めたいと思います。きょうは、これしか言えません。お願いします。
委員	私は、統合先は赤羽根中学校でよろしいかと思います。時期につきましては、さまざまな問題があります。そういったことを踏まえていきますと、いろいろな問題点が解消されてから統合というように持っていかれたらと思っております。ただ、何年という線を引くというのは、なかなか難しいところがありますので、一応、私は、前の時期に平成33年度というように確か述べた記憶がありますが、それまでにできればよろしいのではないかと、少しあいまいなところがありますが、今の時点では、私の意見としては、平成33年度ぐらいまでに統合されればよいと考えております。
委員	統合先は赤羽根中学校でよろしいと思います。時期は、個人的なことを言えば、慌てることもないと思います。準備期間を置いたほうがいいのではないかと思います。私も母校なものですから、母校が廃校になるのを急ぐ必要はないという個人的な感情も幾らかあります。平成33年度が準備万端だということであれば、平成33年度でいいと思います。
委員	伊藤さんがアンケートをとられました。先日、泉中学校区説明会のときに、平成30年度、31年度、32年度と意見が出ましたけれども、結局、市では平成33年度以降でなければできないのであれば、最初から、これ以降でないとできませんと言ってもよかったのではないかと思います。わざわざアンケートをとる必要はなかったのではないかと思います。平成33年度以降でないとダメなら、平成33年度がいいと思います。
委員	統合先は、赤羽根中学校がよいと思います。統合時期につきましては、統合するに当たっては、かなりいろいろな問題も生じてきますので、しっかりした準備期間を設けるとともに、伊良湖岬中学校が統合したときの課題もいろいろと出てくると思いますので、そういったことも含めて、しっかりと問題を解決する形で、この平成33年度がベストかどうかかわからないのですけれども、しっかりとした準備期間、道路整備を含めて、学校の整備を含めて、私の中では、この平成33年度がよいのではないかと感じています。
委員	統合先は皆さんと同じ意見です。時期については、お任せします。教育委員会が責任をもって決定していただきたい。
委員	私も皆さんと同じで、統合先については赤羽根中学校でいいと思います。時期については、自分は前回、8月23日の説明会に出られなくて、その辺の情報がないのですけれども、この前の検討委員会での意見では、なるべく早いほうがいいという意見が多かったようですが、具体的な年度はわかりませんが、なるべく、できる

	範囲で早いほうが自分はいいのではないかと思います。
委員	<p>統合先は皆さんと同じで、赤羽根中学校。問題は統合時期ですけれども、第5回検討委員会では、早いほうがいい、平成30年度でもいいのではないかという意見でしたが、説明会での鈴木課長のいろいろな方面からの現実的な内容を聞きますと、やはり私も平成33年度が妥当かなと思います。</p> <p>心情的には、今まで私も泉中学校を出ましたし、早速統合しなければいけないのか、というような感じでした。不具合があって困るのは、子どもたちです。ほかの委員も言われたように、時間的に間に合わないのだったら、平成31年度で先に統合するところがあれば統合先の諸問題をつぶさに見て、向こうには悪いですがけれども、こちらはその教訓を平成33年度に生かしていったほうが私はいいと思います。</p>
委員	<p>統合先については、赤羽根中学校です。時期は、子どもを持った親御さんの意見と、こちらに並んでいるような、お孫さんはいても子どもはもういない人の意見の差はあると思います。でも、何にしても、子どもも親も、教育関係などで今からやっていく調整が全てうまくできる状態ができてからがいいと思います。すぐに準備をして、それがまとまるかどうかもありますので、平成33年度でなければそれができないのか、平成32年度でもできるのか、ひょっとして、この間のときに出たような平成34年度という意見もあり得るので、ベストな時期にやるのが一番ではないかと思います。</p>
委員	<p>統合先については、赤羽根中学校でいいのですが、統合時期は平成30年度、平成31年度といろいろ出ましたけれども、年度は関係なしに、通学路だとかマイクロバスとか、いろいろな準備ができたときにやってもらえればいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>私も皆さんと同じように赤羽根中学校です。アンケートでも、やはり赤羽根中学校が大多数ということ、現在の保護者も赤羽根中学校という意見が多いということで、いいのではないかと思います。</p> <p>大体、前の委員が言われたのと同じ意見なのですが、やはり通学路。休みの日に部活動があった場合、全てスクールバスでカバーできるとは、私は考えておりません。冬休み、夏休み、春休み、大会があったら早くいかなければいけない、どうするか。そういうことを考えると、やはり県道等の整備、これには4、5年、もしくはかなり時間がかかると思う。それで、学校側の整備を考えると、平成30年度に統合が決まったら、すぐに学校側が受け入れられるか。これは、そううまくいかないと思う。やはり準備期間が非常にかかると思います。</p> <p>きょう、たまたま豊橋市へ行ってきました。まだ大降りではなかったのですが、仁崎のぐるりんバスのバス停に中学生の自転車が野ざらしで6台ぐらいとめてありました。どしゃ降りでかわいそうだなと思いました。バスを待っている期間もぬれてしまうのではないか。帰りに野田を通ってきましたら、20名以上は入れる立派なバス停や自転車置き場等ができておりました。我々が統合準備委員会などで検討して、どこにバス停を設けるということであれば、子どもたちが風雨にさらされないようなものをつくる期間、予算的なものもありますので、やはりある程度の期間を置いて、子どもたちが安心して通学できる、安心・安全を確保してから統合するのがいいのではな</p>

	いかと思います。教育委員会が平成33年度と言っておりますので、それまでにきちんと体制を整えていただきたいと思います。
委員長	ありがとうございます。 事務局側として意見に対して回答するようなことがありますか。
事務局	もう一度、全体の説明会をやってほしいという意見があったと思うのですが、保護者を対象にした全体の説明会ということでしょうか。
委員	はい、そうです。
事務局	例えば、この前の8月の説明会や検討委員会で話をした内容についてでしょうか。
委員	たまたま来られなかった人もいるし、質問したくてもできなかった人もいたようなので、もう1回説明して、納得して赤羽根中学校へ行ける体制をつくったほうがいいと思います。例えば皆さんが言うように、条件が揃う平成33年度にしたいというのだったら、説明したほうが親御さんは納得するのではないかと思います。そこで統合時期の決定がおくれても仕方がないことではないかと思う。
委員	私も一緒に、平成33年度という案が新聞で出た。それを見て勘違いした保護者の方が多くて、説明会には行かなくてもいいじゃないかということを知りました。 あと、統合時期が平成33年度という案についてですけれども、やはり、平成33年度の統合に関係する保護者は、今まで平成30年度、31年度と言っていたのが、市の案で平成33年度になるかもしれないといきなり言われて、戸惑いもあると思います。もう1回、説明会を開催するのもいいとは思いますが、少し時間が欲しいと思います。
委員長	第5回再編検討委員会が7月28日であって、そのときに平成33年度と方針案では出ている。そこから1か月後に全体説明会を開催したのだけれども、それまでに皆さんが考える時間がなかったという解釈ですか。
委員	見ていない人もいるし、平成33年度に決まったのではないかと勘違いした方もいると思う。
委員	たまたま野田地区、伊良湖岬地区、福江地区など他の校区の人に会ったときに、泉中学校は平成33年度に統合になったと新聞に書いてあったという話を四、五人からいわれました。まだ案で、完全に決まったわけではないよと伝えました。 私たちが初めて統合時期が平成33年度と聞いたときと同じような状態が今の親御さんに見られるので、私はもう1回説明会をしたほうがいいのではないかと考えて。
委員長	東愛知新聞には、「平成33年度に赤羽根中学へ統合とする方針案を提示した」と書いてある。
委員	平成33年度だと思ってしまったようです。
委員	市側からの方針案が平成33年度だったら、平成33年度と捉えた方もいると思う。
委員	泉小学校PTAです。皆さんにお伝えしたいことがございます。 まず、8月23日に開催されました校区説明会、この後に、平成33年度に中学3年生となる保護者の方が、平成33年度の統合時期について、平成33年度に中学3年生となる保護者を対象に、LINEによる意見や思いをまとめられました。 9月1日にPTAの役員が集まり、会合を設けまして、LINEによる意見や思い

	<p>を集めたプリントを、本日、検討委員会の皆様に見ていただきたくプリントを御用意させていただきましたので、ぜひごらんいただきたいと思っておりますので、今からお配りしたいと思いますので、よろしくお願いたします。</p> <p>プリントでございますけれども、多くのことが記載されております。設問は、「平成33年度に合併を行うことについて」となっております。</p> <p>集計人数の合計は35人。内訳は、どちらでもよいが10人、反対25人。反対のうち、早くが21人、遅くが3人、その他意見なしという方がお1人おります。</p> <p>このうち、御紹介させていただきますけれども、どちらでもよいでは、「遅くても早くても子どもたちがしっかり対応できるように準備できるなら構わない」や、「誰かが中学3年生で合併しなければならぬから仕方ないと思う」「心配は部活動のこと」などです。</p> <p>一方、反対ということでは、「できれば平成31年度を希望。難しい場合には、平成32年度には遅くともしてほしい」「運動の得意、苦手もあるので、早めにしてほしい」など、ほかに多数ありますが、ごらんとおりです。また、「もう少し遅くしてほしい」との意見もございました。</p> <p>そして、こちらのプリントを踏まえまして、私どもPTA役員の間では、現在小学4年生の保護者の意見だけでは、他の学年の親の意見も聞かなければ公平性を欠くのではないかという見解になりまして、小学校全学年及び現在の中学1年生の保護者を対象に、検討委員会会長と小学校PTA会長、中学校PTA会長連名による、統合時期と現在感じている疑問点、不安点を記載してもらおうアンケートをとりたいと考え、アンケート実施についてお願いするものです。</p> <p>こういったものを踏まえて、検討委員会会長連名によるアンケートの実施について御承諾いただけますでしょうかということが申し上げたいこととございます。</p>
委員長	突然、小学校のPTA会長から提案があったわけですが、この件についてどのように取り扱いますでしょうか。皆さん、御意見がある方がございましたらお願いします。
委員	アンケートの際には、LINEなどと言っていましたけれども、どういう文章で意見を求めたのか、皆さんの意見が羅列してあるだけで、それがわからないものだから、質問は、どういう質問だったのでしょうか。
委員	私も設問のことを承知しておりません。こちらのプリントを皆さんにお渡ししてもらいたいということでした。
委員	一番に、どちらでもよい、反対、それで、その内訳が出ています。賛成はないのですよね。普通なら、反対、賛成、どちらでもよい。それで、それについての意見、理由ですけれども、賛成がないというのは、これは何なのかな。
委員	私たちも見えていないので、「平成33年度に合併を行うことについて」という設問だと思います。
委員	結果だけをいただいたので、どのように質問をして回ったのかがわかりません。
委員長	提案する以上、その辺ははっきりしていただきたいです。
委員	このアンケートにお名前が書いてあるのですが、この方がアンケートをした



	わけですね。
委員	小学校では、全学年にアンケートをやっていますよね。
委員	前 P T A 会長が平成 28 年 3 月 7 日から 17 日に実施したアンケートが正式に行われたアンケートです。
委員	このアンケートについては、何年度にするかということになると、賛成もないので疑問ですけども、保護者は、自分の子どもが中学 3 年生のときは反対だし、これは当然、どの学年でアンケートをとっても、このような数字になってくると思う。平成 30 年度、31 年度、32 年度、33 年度、34 年度にしろ、こういう数字が出てきてしまう。今からわざわざアンケートをとって、意見を聞いたという実績だけ出すのは、少し疑問に思う。
委員	小学 6 年生から 1 年生までの皆さんにもう一度アンケートをとりたいということだと思うのですが、すでにアンケートをやっているのに、またこうした内容が出てくるのがわかっている学年を対象にアンケートはしないですよね。誘導しているような内容になって、恐らくこういう内容が出てくると思うのですが、それで、またやり直すということですか。
委員	平成 33 年度という数字を突然聞いた保護者の方もいらっしやって、困惑している。突然、自分たちが中学 3 年生の親になるというのが対象になってしまって、言葉は悪いのですが、人ごとなのが対象になってしまった。本当は、校区説明会の際に意見を述べられれば、それは一番よかったと思うのですが、結局、なかなか人前で話せない、言えないということで、あの後、いろいろな保護者の方からも意見が出て、思うように言いたいけれどもどうしたらいいのというお母さんたちもたくさんいて、そういうことも踏まえて小学 4 年生だけが、私たちも知らなかったのですが、アンケートをとって、どのように思っているとか、言いたいことが言えなかった分、どう思っているのかというのが、きっとこのように形になって出てきたのではないかと思います。 では、平成 33 年度でなければいいのかではなくて、平成 32 年度になったときに、今の小学 5 年生の親だとか、平成 34 年度になったときの親がどう思うのか、言いたいこともあるだろうから、もう 1 回、時期だけではなく、不安なことも含めてとつたらいいのではないかと思います。
委員長	そういう考えがあるから、先ほどほかの委員が言われたように、こういうことをやる前に、何でもう 1 回、みんなが納得できる説明会を開いてくれませんかと私のところに言ってこないのか。やってしまってから、またやらせてくださいなんていうことは、筋が違うじゃないの。
委員	済みません。先ほど、再度説明会という話がありましたけれども、この 8 月 23 日の説明会については、多分、学校を通じて案内文が各家庭に配られたと思います。自分がそれに都合が悪くて参加できなかった、意見がそこで言えなかったから、またそれをもう 1 回やりましょうというのは、少しおかしい気がします。もし意見があれば、今、委員長が言うように、こういう意見があるけれども、みんな寄って話を聞いてく

	<p>れないかとか、この再編検討委員会の前にやってもらえたらよかったかなと思います。でも、これは繰り返し、繰り返しになってしまうと思います。今、小学4年生という話が出て、今度は年度がかわってきた、その親御さんが心配する。でも、この再編検討委員会は、一応、統合先と統合時期をいつにするかと議論しているわけです。でも、もし委員が全員でこの年と決めたなら、これを教育委員会にお願いしますという格好で持っていくべきだと思います。もし意見が割れたら、また委員長のほうで、この委員の中でもう1回よく話をして、いつにしましょうという結論を出してもいいのではないかと思います。きのう、きょう始めた委員会ではないし、もともとは平成25年度の学校を考える会から始まっているものです。</p> <p>それで、確かに先ほど言った新聞で突然と載ったという。それも、やはり委員の方なら、ある程度説明ができていますと僕は思います。まだこれは決定ではないよとか、教育委員会がこういう方針を示したという説明ができたのではないかと思います。</p> <p>それと、この文章を見ますと、小学校4年生の親御さん35名の意見が全部出ていると思う。もう1回アンケートをとると、多分、堂々めぐりするような気がしますので、私はこの検討委員会としては、平成28年3月までに決定するというのが半年延びたので、親御さん、子どもさんに、いつ合併しますよとこの辺で決めてもらいたいと思います。卒業してから合併する人もいるでしょうし、確かに中学3年生、中学1年生で合併する人もいるかもしれませんが、もうこれは判断してもいいのではないですか。</p> <p>でも、このアンケート結果を見ていると、早くしてほしいとあるが、年度が書いていない。私も平成33年度の統合でいいと思う。でも、ハートの中には、もう1年早くしてもらいたいなという気持ちがあったので、私は平成32年度と言ったのですけれども、準備期間等があるので、私は平成33年度で今は結構だと思います。</p> <p>済みません、もう一つ。私が聞いたところによると、PTAの役員全員が委員会で集まってやったのか、たまたまそこにいたので話し合いをしてアンケートをしたのか私はわかりませんが、何か要望があれば市民館に委員長がいますので、こういう意見が多いのですけれどもどうですかと少し言ってもらいと、委員長も、緊急にまた、委員の人、集まってくださいということだっただけだと思ふ。ことしの会議の予定は、当初から示されているので、委員としては、皆さんも準備ができています。だから、周りの人から質問を受けたときには、実はこういうわけだという説明ができて私はいいと思うのですけれども、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>先ほど言ったように、賛成がなかったというのは、この平成33年度に合併という言葉聞いて賛成した人も、LINEを先ほど確認したのですけれども、賛成する人、反対する人、どちらでもいい人というような感じで聞いたのですけれども、さすがに賛成する人がいなかった。だから、賛成にゼロがない。</p> <p>それと、やはりこの人たちは全員、平成33年度と勘違いしている。そうでなければ、ここに、平成33年度に合併を行うことについてという言葉は書かないと思う。</p> <p>やはり皆さんがわかっているように、時期も短いことだし、十分準備する期間が欲</p>

	<p>しいので、当初は平成30年度という話があったはずですが、それが平成31年度になって、それで今回、平成33年度になった。平成31年度は、伊良湖岬中学校が統合するから一緒にはできないというようなことも前回教えてもらったので、私たちはわかるのですが、親御さんは急に案とは思わずに、平成33年度に統合するというで、この書類が来たと思う。だから、私は、統合が平成33年度になると理解してもらうためにもう一度機会が欲しいということで説明会をお願いしたいと言ったのです。</p> <p>この人たちが全員勘違いしてしまって、平成33年度に合併すると思い込んでしまって、まだ決まっていないのに、皆さんが今ここで決める前に、もう平成33年度に合併するんだよということで、その早とちりから、これだけの意見が来たので、もう一度機会を与えて、平成33年度にもう1回するんだよということを、きょうの説明をすれば、一部の人は、そのように決まってしまったことだったら今度は賛成しましょうという話にもなるかもしれません。誰かは必ず中学3年生に統合になることはわかっているのでもう1回きちんと説明して、平成33年度にどうしても変えたかったのだけれども、準備期間が欲しいと説明すれば、親御さんも納得してくれて、協力してくれると思う。今のままでは、本当に勘違いのまま終わってしまう。</p>
委員	勘違い、勘違いと言われますけれども、これは皆さん、PTA役員が検討委員会の委員として、再編検討委員会へ出席している。ですから、それを十分説明した上で、平成33年度に合併を行うことについて、教育委員会がこういう年度を示したけれどもどうですかというアンケートをとったのではないですか。
委員	私はわからない。
委員	それでは、わからないことをわからない人たちで議論していてもしょうがない。
委員	ただ、平成33年度に合併を行うことについてという設問でアンケートがきたので、私はそう思ったところです。
委員	教育委員会が示した方針案について、保護者が、どちらでもよい、反対、賛成というアンケートじゃないのですか。
委員	大変おかしいと思います。
委員	質問の内容がはっきりしないものに対して、小学校4年生のアンケート結果が来た。それでは、このアンケートをした方がどういう責任を持っているのか。ただ、アンケート結果を集めたというだけで、これを皆さんにどう処理してほしいのか。
委員	私もわかりませんが、もう一度説明してほしいでしょう。
委員	平成30年度なら今の中学1年生、平成33年度なら、今の小学4年生の子たちが中学3年生になるので、やはり当事者ではないですけれども、一番大変な方たちだと思うので、その意見は聞いておくべきかなと思います。
委員	<p>先ほどから話をしている平成30年度の統合というのは、伊良湖岬中学校と一緒に統合という前提があったときの話がまだ残っていて平成30年度でしょう。それがずれて平成31年度、32年度、33年度。それを言うなら、平成33年度合併、平成30年度合併からの保護者全員に同じアンケートをとらなければいけないのではないですか。</p> <p>それともう一つ。このアンケートは、統合の年度を検討する内容ではないように私</p>

	<p>には見える。部活動のことなどは、平成32年度だろうが33年度だろうが、何年に統合しようが、今、議論する内容ではないと思います。</p> <p>何年生にアンケートをやっても同じ内容が出てきてしまうのではないですか。</p>
委員	<p>突然、統合時期が平成30年度から平成33年度になって、その不安な気持ちがありま すし、もう一度説明してほしいと思う。</p>
委員	<p>それは、平成30年度、31年度、全部検討している中の話でしょう。一つも決定はし ていなくて、皆さんもずっと会議に出ているから御存じですよ。教育長から、この 検討委員会の中で検討して、意見を上げ、最後は結論が出てくるという話でやってい る。決定する話がないのに、先ほどから勘違いしている人がいると言うのだけれども、 小耳に挟んだことを全部勝手に勘違いしてしまう親御さんのほうが、私としては不思議 でしょうがないのだけれども、違いますか。</p> <p>でしたら、もっと何で説明会に保護者の方が座れないほど集まらないのですか。</p>
委員	<p>言いたいこと、聞きたいことがあれば、先ほども言ったように、学校を通じて各家 庭に文書で案内が行っているのですから、これほど意見があるのだったら、説明会に 来ていただきたい。そうすれば、もっと充実した内容になりますし、PTAの方々も、 このレベルのことで頭を悩まさなくても済むと思う。</p>
委員	<p>この間の説明会には、平成33年度の統合に絡む今の小学4年生の親御さんは誰も来 ていなかったのですか。</p>
委員	<p>説明会に来ていました。</p>
委員	<p>説明会に来ていたなら、平成33年度に決定とは説明会で一言も出ていないと思いま す。その中で、「平成33年度に合併を行うことについて」と、この説明文自体に案が 入っていても間違いではないと思う。ただ、誰かが意図的に、平成33年度に統合する ことに対する意見をくださいというつくり方をしているようにも感じてしまう。実 際、ここに書いてあるのは35人だけれども、その中で1人、2人来ていたわけではな いでしょう。保護者の人たちが皆、平成33年度は案だとは知らず、みんな勘違いして いたということも、考えにくい話です。この時点で、決定ということは一言もなかつ た。説明会では、保護者全部の意見ではないけれども、平成30年度、平成31年度、平 成32年度、平成33年度もあって、別に慌てなくても平成34年度でもいいじゃないかと いう意見までいろいろ出ていたことも事実です。</p>
委員	<p>だから、自分も今度の8月23日の説明会で、しっかり説明を聞いたほうがいいし、 平成33年度と新聞に書いてあったけれども、これはあくまでも教育委員会の案であつ て決定ではないは、会う人には言っていました。私も説明はしたのですけれども、事 実、このように言葉が出てきたということは、やはり案ではなくて、勘違いで出てき ているとしか私は考えられないので、例えば統合が平成33年度なら、説明会をしたこ とで決定が1か月延びても統合時期が10年、20年延びるならいけないけれども、もう 一度、呼びかけて、きちんと説明会をしたほうがいい。</p> <p>このままだと絶対に恨みつらみになってしまいますので、せつかく検討委員の人た ちがしっかり話し合っているのに、やはり、検討委員だけがと言われてしまうと嫌な</p>

	<p>ので、もう一度、説明会の機会をつくっていただければと思います。</p> <p>例えば、小学校のPTA会長が言うように、ほかの学年にもアンケートをとりたいたいということなら、アンケートをとってもらって、少し1か月、2か月遅くなるかもしれないけれども、泉の皆さんはこのように合併に関して一段とよくなって、それを納得した上での編入なら、逆に言えば、進みが早くなるのではないかと私は思う。</p>
委員	<p>私は、こういうレベルのアンケートをとっても、誰も深い理解や納得はしないと思います。これだと小学4年生が中学校3年生で統合になってしまうということで、先ほど言われたように、私のときは嫌とか、恨みがどんどん膨らんでしまいます。それよりも、皆さんで頭を寄せ合って、いろいろな意見が出て、部活動のことを考えると、統合は早く支障なくできれば早いに越したことはない。だけれども、泉地域から中学校がなくなってしまって、次の学校へ行くということは、大変なことなのです。やはり前校区長が言われたように、毎日子どもたちが通う通学路のことも、予算面もあるので、早急にはできません。</p> <p>学校を通じて説明会の案内文を出しても来てくれない方々もいるので、検討委員会として意見がまとまった点について、これまでの経緯を含めてわかりやすくまとめて文書で出して納得していただく方が、むしろ理解が深まるのではないかと思います。</p>
委員	<p>その辺の理解に関しては、私も同じ意見です。先ほど言ってもらったように、通学路のことなどをわかるように説明してもらえればと思います。結局、全部反対という意味ではなくて、納得がいなくて反対の感じになっています。</p>
委員	<p>その方々も8月23日の説明会に来てもらえれば、鈴木課長の話してくれた教職員の異動のことなど、本当にわかりやすかったです。それに、元先生から、統合を早くすれば、通常の業務に加え、泉中学校の教師の方々の負荷が今以上にふえて、子どもたちへの目の行き届きは薄くなるという、現場で働いた方の意見は目からうろこでびっくりしました。説明会で聞いていれば、アンケートのように言いたい放題の意見はなかなか出てこないと思う。みんながみんなのことを思い合って、真摯な気持ちで言葉を出して、決めていくようにしたほうがいい。摩擦が起きるようなことを集めてもしようがないと思います。皆さん代表としてやっているものですから、今、話が見えてくれば、先ほど言ったようなわかりやすい文章で、こういう感じの経緯でというようなことをお知らせしてはどうかと私は思う。小学1年生から6年生までのアンケートをとっても、そのアンケート結果をどうするのですか。</p>
委員	<p>説明会に来ないのにおっしゃいますが、午後7時からで、小さな子どもを置いて出られない人だっています。そういう方だって意見を言いたかったかもしれないです。小さな子どもを持つ母親が来られる、もう少し早い時間に説明会をしていただけたらいいかなと思います。来られない人だっていたと思うのです。</p> <p>保育園の保護者でも、多分来たかった方がいらっしゃるので、保育園に来て説明会をしていただけるといいなと思う。</p>
委員長	<p>このまま行くと、私が冒頭に言ったまとめが多分できなくなってしまう。</p> <p>言えるのは統合先だけであって、時期については、平成33年度、30年度、31年度、</p>

	<p>32年度、準備が整ったというさまざまな意見があつて、なかなかまとめるのが難しいのと、今、提案のあつた件について意見がいろいろあるものだから、その辺をどうしようかと、ここで結論は、なかなか出せない感じです。</p> <p>意見の中では、全世帯にアンケートをやり、子どもたちにアンケートをやる、さらにまたやるのということもあるし、そうはいっても皆さんの結論としては、行きたいよという意見もあると思う。やるのは定かではないのだけれども、先ほど言ったけれども、少し順番が違ふんじゃないの。この委員の中でみんなに納得してもらうためには、順番を踏んで、みんな納得して、アンケートの方法や内容をみんなに諮って、みんなが納得して、どんとやれば、その結果は非常に重要なものになってくるので、そういった方法がなぜ出来なかったかなど、私は、個人的には思います。</p> <p>ですから、今からそういった方向で進んでいくのかどうか。このままだと、統合先だけ決めて、時期はもう 1 回再編検討委員会をやらなければいけません。そこでも決まるかどうかというのは、私がそんなことを言うてはいけないのだけれども、今の状態ではわからない。平成25年度からずっと続いてきたものを、ずるずるいつまでたつても一緒になってしまうので、何とか皆さんにいい知恵を絞っていただいて解決していきたいと思います。</p>
委員	<p>皆さんの意見を聞いてメモしてみたのですが、早ければ早いほうが良いという方と、行政的な意味で、可能なら平成30年度、早ければ早いほうが良い。けれども、この前の説明会で鈴木課長が言われたように、道路面とか、予算面でも・・・予算すらできない。あと総代さんたちは、大体の方々が平成33年度ぐらいで、5年あれば予算もどうにかつくだろうし、道路の骨子も立つだろうということです。あとは、早い・・・平成32年度とか。基本的には、皆さん2階での、例の鈴木課長の事細かな説明を聞いて、現実的な意味では、何年が妥当かということは、これぐらいしかないのではないかというのは、薄々感じていると思うのです。平成32年度か33年度。役場の方々が、これなら、どんとこいだとは恐らく言わないでしょうけれども、一番いい、子どもたちの人数から言っても平成33年度が良いのではないかという。ではないのでしょうかね。私は、そう思うのですけれども。あと、恐らく、この辺から動かないのはわかると思うのですよね。問題は、これがあるものですから、これは早い話、平成33年度では嫌という意味での文書ですよね。賛成という項目もうたっていないので、私は、これはそれほど意味をなさないと思うのですけれども、どう思いますか。恐らく平成32年度で小学5年生のPTAの方々へ出したら、これと同じ結果だと思う。</p>
委員長	<p>こちらのほうで、そう言われても、こういう行動だから、こうはこうで、皆さん納得できるようなものが提案できれば、別にこちらは怒っているわけではない。みんな納得できる時期を決める方策があれば、・・・。</p>
委員	<p>アンケートをとることによって時期が決まるとは考えづらい。ただ、言いたいことがあつても言えない意見を吸い取る方法として、こういう提案という形なら、別にアンケートにこだわらなくてもとは思いますが、だから、統合時期が変わるかというところと少し違ふとは思いますが。</p>

委員	一言言えば納得できるということですか。
委員	そういうニュアンスも含めて、このままではちょっとという保護者の思いを伝える場として説明会をお願いできればということですか。
委員	教育委員会、いいですか。 資料 1 の「9 月中旬 教育委員会にて最終決定」としてありますが、今、PTA の役員さんたちが、もう一度詳細な説明を保護者にしてもらいたいと。あす、伊良湖岬中学校統合検討委員会があって、9 月中旬までの間に対応は可能なのかどうか。日程的にどうなのですか。少しきついですか。
事務局	本日 9 月 8 日 (木)、泉中学校再編検討委員会、9 月 9 日 (金) は伊良湖岬中学校統合検討委員会があり、9 月 16 日に教育委員会を開催することは決定しております。 意見がまとまれば、教育委員会に、まとまった意見として提案していきたいと考えておりました。9 月 16 日までの間に説明会を行うことは、時間的には難しいですね。 例えば、再編検討委員会で意見がまとまらなかった場合は、教育委員会にも出せません。
委員長	教育委員会は、毎月あるのですか。
事務局	毎月 1 回定例会が開催されています。
委員長	それ以外で臨時会はあるのですか。
事務局	案件があれば、臨時会を開くこともできます。
委員長	例えば保護者に対して説明会をやる。その後、また再編検討委員会を開催することになる。その全体説明会の中で統合時期を決めましょうといっても、多分決められない。その辺を考えないといけない。
事務局	スケジュールとしては、9 月の再編検討委員会で意見がまとまったら、9 月の教育委員会定例会に出すという予定です。
事務局	資料は、スケジュールを目標としてお示しをさせていただいたというものです。
委員長	地域の役員側の意見を聞いて、保護者から何か意見は出てこないのですか。ただ説明会をやってほしい、アンケートを委員会名でやってほしいという意見だけであって、何か解決策はありませんか。
委員	平成 30 年度、31 年度の統合の可能性は絶対にはないのですか。
事務局	校区説明会の席上では、大変厳しいとお伝えさせていただきました。 先生や受け入れ先の学校の準備などもあります。まして平成 30 年度は、とても無理だということです。
委員長	今、挙手してもらっても、平成 33 年度に統合することについては、多分半分。だから、半分半分だと結論が出ない。この再編検討委員会として統合年度の意見をまとめるには、どういった方策がありますか。今、方策の一つとして提案があったという解釈でいいのかな。
委員	もう 1 回言わせていただきます。 今、周りでは、平成 30 年度、31 年度がだめなら、平成 33 年度よりは平成 32 年度に 1 年でも早く統合してほしいという声を聞いています。

委員長	教育委員会のこれまでの説明で平成33年度と再編検討委員会の委員や説明会に出席された方は、多分理解されたと思うのだけれども、先ほど言っていた、理解されていない人をどうするんだという意見もあります。例えば平成32年度、平成33年度に赤羽根中学校でお願いしますと言ったときに、言葉での聞き方とか理解の仕方によって、変わってしまうので、同時に保護者の方に、これまでの経緯を含めて、どうしてそうなったのかをお知らせするやり方もあるのではないかと思います。
委員	文書ならわかりやすいと思います。
委員長	お知らせの内容については、当然、この検討委員会の名前を出すので、みんなで見てもらって、文書を出さなければいけないと思っています。
委員	一番後ろの資料の理由及び問題点はわかりやすいと思う。
委員長	理由及び問題点。お役所言葉だけれども、もう少し砕いたほうがわかりやすい。
委員	実際、現実的にできるかできないかになってくると、消去法になって、この年にはこれが間に合わないとなると、おのずと平成32年度か平成33年度に絞られてくる。
委員	平成30年度、平成31年度に統合した場合の問題点は、前回の説明会などで文書を配付していますか。
事務局	口頭で説明した内容です。
委員長	口頭の説明では理解の仕方が個人によって違う。
委員	だから、文書で理由を配付してもらって納得してもらえれば、それでいいと思う。
委員	満場一致で時期は決まらないと思うので、その中でも親御さんは、どの時期に自分の子どもが中学3年生になっても構わないという意見も多くあるのですね。 ただ、部活動に関して、親側と皆さんとの温度差があり過ぎるといえるか、部活動に関しての説明が少ない。野田中学校が統合したときに、野田中学校にある部活動は、ほぼ田原中学校にもあって困らなかったと思うのですが、泉中学校は、そうはいかない。一生懸命力を入れて部活動をやっている子たちが力を発揮する場がなくなってしまったり、子どものケアやフォローをするというだけではなくて、もっと具体的に、例えばブラスバンドをやりたいと思う子たちがいると、泉中学校へ入学したときから赤羽根中学校と同じブラスバンドができるのか。結局その子たちが統合するまで楽器は習えないのか。とにかく道路の話や制服の話だけではなくて、部活動を皆さん一番心配されている。 道路に関して、道路が万全になるまでスクールバスだけにしてほしい、部活動について残された子たちをどのようにケアするのかという意見を非常に多く聞くので、もう少し説明が欲しい。
事務局	親御さんたちが御心配していて、部活動に一番関心があるのも、すごくわかります。今おっしゃった問題では、平成30年度の統合が難しいのは、まず部活動の問題がありますよね。だから、平成30年度の統合はあり得ないと思うのです。今、中学1年生になっている子たちが中学3年生のときにどうしてくれるんだとなります。 それでは、平成31年度の統合の場合、今からの半年間に両校と私たちが入って、部活動などの方向性を出さなければいけません。例えば今の小学6年生の子が中学1年



	<p>生に上がるときに、そのことが見えていない状態で泉中学校に入学していくと、また同じことが起きます。だから、当然、平成31年度に統合する場合、泉中学校に入学する時点で、その問題をクリアした状態でお示ししなければいけません。</p> <p>ただ、統合をいつにするのかを決める今の段階で、具体的に示せと言われても、事細かなことまで示すのは、私たちの一存では非常に難しいということをおわかりいただきたいです。それぞれ学校に事情があります。それぞれの学校とも調整しなくていけないですし、泉中学校の子もすごく心配ですし、受け入れる側の赤羽根中学校についても、そのことで大きく何かが変わっていくようなことがあるなら、相談をかけないと、自分たちの知らないところでどんどん変わってしまったということがあるようではいけないと思うのです。ですから、統合の時期を決めるまでに具体的なことをできるだけ示してくれという御意見はすごくわかるのですが、できるだけケアしたいということまでしか、具体的なお約束をするのは非常に難しいです。</p> <p>先ほどの、例えば赤羽根中学校へ行ってブラスバンド部へ入りたい子については、泉中学校にいる段階から何らかの形で楽器の練習ができるようなことを、いろいろな策を講じて考えていくことは必ず考えますとか、それぐらいのお約束ならできると思うのです。だけれども、泉中学校にもブラスバンド部をつくりますとか、そこまでのことは、現時点では、はっきりとしたことがやはり言えないのです。だから、できるだけケアするというのをぜひ受けとめていただいて、いつ行くことになっても、できるだけその子たちがつらい思いをしないように、気持ちよく行けるように最善のことを考えたいというのは私も一緒です。だから、いろいろなことを、条件を踏まえながら考えていくことはお約束しますが、今はそこまでということでお許しいただきたいと思います。</p>
委員長	<p>ほかにございますか。</p> <p>今の説明を文章で書いてもらえるとわかりやすいと思う。また後で、最終的に結論を出しますけれども、資料の中に今の部活動の説明も含めて書いていただけると理解できるかなと思います。</p>
委員	<p>自治会長さんにも御迷惑かもしれないけれども、回覧板に入れてもらえれば、一般の人も目が通るので、全体的に伝わるのではないかと思います。平成33年度に変わったのは当たり前だと思っていただければ、こちらでも安心して、話が進められるのではないかと。今のままだと、ぐらぐらしてしまっている気がしてしょうがない。</p>
委員	<p>部活動のことだけではなくて、赤羽根中学校と泉中学校で教材が違うと聞いた。</p>
事務局	<p>授業の中で使うワークは固定されているものではありませんので、ことし使っているものを来年も必ず使うことでもないものです。教科書は全く一緒です。</p> <p>それから、公式に市の予算で買っている副教材もございます。それも全く一緒です。あと、例えば数学の先生が、ワークシートを使おうとか、それは、指導に当たる教員によって変わってきますので、御心配なさらなくても大丈夫かと思ひます。</p>
委員	<p>校則も変わってくるという話も聞いたことがある。</p>
事務局	<p>私が聞いている範囲では、両校がそういう部分ですごく違うということはないと思</p>

	<p>います。赤羽根中学校も男女の分け隔てなく、とてもよい生徒間の関係が築けている。泉中学校についても、一緒だと思います。規模的にも、赤羽根中学校のほうが少し大きい程度で、非常に家族的な雰囲気の中でそれぞれの学校ができているというように感じておりますので、御心配な面につきましては、統合がいつと決まった時点で、それぞれの学校の校風など、いろいろと情報交換します。両校の子たちが実際に何か行事などで一緒に活動することを野田中学校が田原中学校に行くときに幾つかやっております。合唱コンクールを合同で行うなど、できるだけ子どもたちが行く前から心を通じ合えるように、具体的にこれからぜひ考えていきたいと思っております。</p>
委員長	<p>8月の説明会の中でもそうした心配点を言った方がいました。相手側に吸収されてしまうのかと。そうではなく、お互いに話し合いながらみんなでいい学校をつくっていくという回答をもらっているの、私は心配ないと思う。</p> <p>ほかに御意見はいかがですか。</p> <p>このまま行ったのでは、多分結論が出ないかもしれない。</p>
委員	いや、それはわからない。
委員	意見はいろいろ言うけれども、平成33年度は嫌だという人も、そうはいない。
委員	現実的に統合時期は平成32年度か平成33年度と思っておりますよ。
委員	会長がどうするかだと思います。
委員	皆さんは、それぞれの立場の代表で出てきている。自分の意見として、代表の意見として決めるべきは時期だと思う。アンケートの意見などをずっと気にするのだったら、実際、統合時期は決まらないですよ。
委員	<p>説明を文書でPTAの親御さんに出して、納得していただければ理解が早いのではないかというお話ですよ。つまり、きょうの会議の結論を、第6回検討委員会報告書のような形でつくっていただいて、スタートからの経緯を含めて記載する。例えば平成30年度は具体的に、時期的に相手側も無理だと。もう中学1年生が中学校に入学してしまっているの、その段取りができないので無理だということで、次に平成31年度の統合の場合には、先ほど述べられた形でだめだということで、結果的に、例えば平成33年度となれば、この委員会の結論は平成33年度となりましたというように、検討委員会の報告書という形で、委員会名でPTAなどに出すのはだめですか。</p> <p>それでは、おまえたちが勝手に決めてしまった話じゃないか、事後報告じゃないかと感情的になりますか。そういう感情を持たれるなら、余りよろしくないの、違う形で出さなければいけないと思うのですけれども、そういうことがなかったら、こうした経緯があつて、最後に、きょう、9月8日の泉中学校再編検討委員会でこのように決まったんだなというので、文書で報告すれば、皆さんに理解していただけると思われるなら、それでいいのではないかと思う。</p> <p>これでは事後報告ではないか、勝手に決めたことだと当事者の親御さんが思われる可能性があるのなら、考えなければいけないので、いかがでしょうか。</p>
委員	それに対しても絶対、意見は出ると思う。
委員	統合時期が何年でも当事者からは意見は確実に出る。それを追及してしまうと、先

	<p>ほどからの堂々めぐりになってしまって、いつまでたっても終わらないから、全員のうちの、我々ができる最大限の人たちに納得していただける形は何かを考えたときに、私が言ったような方法ではどうですかということです。P T Aの皆さんがどのように考えますか。作戦があるのなら、おっしゃっていただいて、この場で決めなければ、きょうの意味がなくなってしまうような気がします。</p>
委員	私は賛成です。
委員	いいと思います。
委員	<p>報告書として告知すれば、出さないよりも、ずっといいよね。このように何回も検討委員会をきちんとやっているということも知らない人もいる。それでは、我々は情けないし、ことしの自治会長さんたちは4月からだけれども、我々は去年、丸1年やっているし、先ほどから何人か言葉がきつくなるのはなぜかという、同じことを繰り返すところがあるからです。今言ったように、P T Aの皆さんが納得いただける作戦があるのならいいのではないかと思う。</p>
委員	<p>やはり早い時期にというのは、早い年度でなくて、いつやるかというのを皆さん早く知りたいと思う。実際、きょうは最終の検討委員会だから、今言われたように、最終的な決定は教育委員会で出されるのだけれども、皆さんにこの委員会の報告として、このように事が進みましたという格好で皆さんにお知らせするのもいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>もっとわかりやすく保護者の方に文書をつくって回すようにして、きょうはきょうの結論を出さないと、また堂々めぐりになってしまう。保護者対象に説明会を開催するなら、教育委員会にまた来てもらってやってもらってもいい。それからもう1度、再編検討委員会をやるかだけれども、堂々めぐりになるのは間違いない。</p>
委員	<p>平成32年度、平成33年度、平成34年度で、挙手で決めたらどうですか。皆さんも、きっと意見は出尽くしていると思う。</p>
委員長	<p>そういった御意見がありますので、年度を決めるということによろしいですか。それでは、主な意見の中で一番多かった平成33年度という方。</p>
	(賛成者挙手)
委員長	<p>19人。 では平成32年度の方。</p>
	(賛成者挙手)
委員長	<p>3人。 では平成34年度の方。</p>
	(賛成者挙手)
委員長	<p>平成34年度はゼロです。ありがとうございました。 それでは、理由や部活動のことを含めた今までの経緯等を報告書として皆さんにお示しする方向にしたいと思います。 先ほど言いました、統合先は赤羽根中学校。それから、年度は平成33年度が19名いました。全会一致ではありませんが、これで教育委員会に報告しますので、よろしく</p>

	<p>お願いしたいと思います。また、報告書については、案を作成して皆さんにお示ししますので、御意見があればお伝えいただければと思います。</p> <p>これで締めさせていただきますので、ありがとうございます。</p> <p>教育長がお越しですので、一言、お願いします。</p>
教育長	<p>皆さん、大変お疲れさまでございました。</p> <p>ずっと私も聞かせていただいて、一つ一つの意見が重く心に響いてまいりました。伊良湖岬中学校の説明会でも、いろいろなものを示してもらわないと行くに行けないとおっしゃった保護者の方がいました。先ほど言った部活動がどうなるのかわからなくては行けない。確かに示せるといいわけですが、先ほど事務局から説明もあったように、やはり相手もあることですので、私たちが、泉の方の御意見や御要望を出すことはできますが、全て相手側が受けられる内容かどうかは、やはり時間をかけてやっていかないと、いいまとまりができていかないのではないかと思います。その前に、やはりまず泉地域の人たちがまとまらないと話にならないなということも強く思うわけです。</p> <p>したがって、まだこの会では、一応、平成33年度という決着をいただいておりますが、いろいろな面で、まだでこぼこしている部分については、準備期間を通して、何とか納得していけるような道筋を精いっぱい努力したいと考えます。一人一人違うものですから、全員の100%の納得は難しいかもしれませんが、それに向けてこちらも頑張りたいので、またいろいろな意見をお寄せいただく中でしっかり調整をしながら進めて、赤羽根の人が喜んで迎え入れてくれるような状況をつくっていきたいと思っています。そして、赤羽根中学校で希望を見出せるように、少し時間がかかりますが、みんなで一緒にやっていく必要があるかなと思います。</p> <p>伊良湖岬中学校区説明会では見切り発車ということを私たちは言われました。何も見切り発車をしているつもりはないのだけれども、感じる方は、見切って発車したと言われてしまう部分があります。そういう言葉はいただかないように、何とかしっかり調整をしながら、準備しながら、決定に向けて進めていきたいと思っています。</p> <p>まだまだいろいろな意見はあると思いますが、PTA、学校、自治会等もありますので、みんなで泉校区のいろいろな問題点を受けとめながら、子どもたちのために、子どもたちが健やかに学校へ行けるようにいろいろなことを考えて、何とか子どもが笑顔で赤羽根に到達する将来を見ながら進めていけたらと思います。</p> <p>貴重な時間、お疲れのところ、きょうはお話しいただきまして、大変ありがとうございました。</p>
委員長	<p>それでは、長時間にわたり御検討いただきまして、ありがとうございました。</p> <p>今後ともよろしくお願いします。</p>